

名 称	前橋市立城南小学校 P T A
会 員 数	3 8 6 人（令和 6 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	1 組織 ・本部役員 17 名 （会長 1 名、副会長 6 名、書記 3 名、会計 3 名） ・会計監査 2 名 ・顧問 2 名 ・学年委員（各学年） ・専門委員（保健体育、文化厚生、校外指導、広報） 2 運営 ・PTA 年度始め総会（年 1 回 書面決議） ・PTA 本部実行委員会（年 2 回） ・専門委員会（随時） ・学年委員会（随時） ・学校行事、学年行事、地域行事への協力
主 な 活 動	1 SDGs の取組 PTA セミナーの前後に開催された PTA 主催の「tsunagu マーケット」では、体育着やマーチング衣装のリユース販売を行った。事前に全保護者に向けて通知し、保護者面談の期間中（10 日間）回収 BOX を校舎出入口に設置することで、学年問わず多くの方が提供くださり、回収率を上げることができた。また、販売の際も保護者参加型の学校行事と合わせて行うことによって、予想以上の集客数・販売数とすることができた。毎年、学年問わず体育着購入の希望者は多く、今年もたくさんの提供があったことで、「多様なサイズのもの のが揃っていて助かった。ぜひ今後も続けてもらいたい。」という保護者の感想も聞かれた。  2 地域と行う諸活動 （1）100 周年記念事業 令和 5 年度に、城南小学校は大正 12 年 4 月の開校から 100 周年を迎えた。約 3 年半前、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校となり、PTA 活動も中止・制限がある中で、“新たな一

歩を踏み出す年にふさわしい記念事業”の企画を、PTA本部役員を中心に試行錯誤しながら検討してきた。

100周年となる令和5年の5月には、高学年児童から人文字デザインを募り、「『夢・希望・笑顔』の願いをみんなに叶えてほしい」という願いを込め、色鮮やかな虹にのせて紙飛行機をとばす人文字をつくり、ドローンによる航空写真撮影を行った。

11月には、前橋市教育長様をはじめ、歴代の校長先生や自治会長さん、交通指導員さんをはじめとする来賓の方々をご招待し、厳粛な雰囲気の中かで「100周年記念式典」を行うことができた。式典では、活動に制限のあった時にはできなかった“みんなで集まって おもいきり笑う”体験をさせてあげたいという思いから、デジタル芸人を迎え、低学年にはデジタルショー・高学年にはプログラミング教育講演会を開催した。PTAが企画・準備・運営を担い、改めて学校と家庭、そして地域との連携を再確認することができた。



(2) 子どもの安全確保

令和6年度は、警察、道路管理課（市）、該当地点の自治会長さんにお集まりいただき、前橋市教育委員会主体の通学路合同点検を行った。日頃の旗振り活動等を通して保護者から挙げられた通学路の危険箇所を本部役員が集約し、学校と話し合いながら点検箇所を決めて、点検を通した改善要請を関係機関に行った。

また、城南小地区を3コースに分け、各コース1名ずつ、児童の下校時間に合わせてパトロールを実施している。街角見守りボランティア、老人会、婦人会、地域自治会などの皆様にも、下校時刻に危険箇所等に立っていただき、地域と連携して児童の安全を見守っている。



名 称	伊勢崎市立広瀬小学校 P T A
会 員 数	383人（令和6年5月1日現在）
組 織 ・ 運 営	1 組織 （1）本部役員 13 名 （2）常置委員会（学年委員会 12 名・広報委員会 11 名・地区交通委員会 14 名） 2 運営 （1）PTA 総会（年 1 回、紙面開催） （2）PTA 本部役員会（適宜） （3）PTA 各常置委員会（適宜） コロナ禍をきっかけに、総会を紙面開催にしたり、会議の回数を削減したりしている。
主な活動	【地域団体との連携・協力】 1 茂呂地区少年の主張大会 茂呂地区の健全育成のために行われる「少年の主張大会」は、茂呂地区の茂呂・広瀬小学校、第一・第二中学校から各 3 名の児童生徒が代表で参加している。PTA 役員が運営補助を行い、児童の教育環境を整えている。会場を茂呂小学校と広瀬小学校とで毎年交互に開催しており、今年度は、広瀬小学校体育館を会場として開催された。なお、当日はアトラクションとして、広瀬小学校 4 年生による合唱と、第二中学校吹奏楽部による演奏も披露された。広く地域の諸団体に取り組む知らせることができた。   2 囲碁教室ボランティア 地域に住む囲碁の指導ができるボランティアの方が、希望した児童に対して年間 15 回くらい、放課後の時間帯に囲碁を教えている。低学年向けの基礎講座などもあり、初心者でも安心して楽しく受講している。本校の囲碁教室は、今年で 22 年間継続して行われている。



【学習ボランティア】

1 町たんけんボランティア

2年生の生活科の学習「町たんけん」で、グループごとに近くの商店等に歩いて訪問する際に、ボランティア募集に応じたPTAが引率・見守りをしている。保護者ボランティアの協力を得て、児童の移動中と訪問先での安全確保に努めている。

2 ミシンボランティア

5・6年生の家庭科のミシン学習の期間、ボランティア募集に応じたPTAが、授業に合わせて来られるときに参加、という方法で活動している。個別トラブルやミシントラブルに対応し、円滑な学習の手助けとなっている。

3 読み聞かせボランティア

月2回ほど、木曜日の朝、1～3年生の各学級で読み聞かせボランティアを行っている。児童は読み聞かせを大変楽しみにしており、また、ボランティアの保護者も、児童の本への反応や児童との交流をとても楽しみに活動している。



4 交通安全教室ボランティア

児童の安全な登下校のために、1年生対象の「交通安全教室」を学校周辺の道路等を使用して行っている。また4年生対象の「交通安全教室」では、校庭で車や自転車をういた指導も行っている。警察や交通指導員だけでなく、ボランティアとして参加した保護者の協力により、児童の交通ルールを守って安全に生活しようとする意識が高まっている。また、PTA 地区交通委員が主体となって当番の分担を決め、保護者が毎朝登校時の旗振りを行い、児童の安全確保に努めている。

名 称	伊勢崎市立あずま小学校 P T A
会 員 数	5 4 3 人（令和 6 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	1 組織 ・本部役員 8 名（会長 1 名、副会長 3 名、書記 3 名、会計 3 名） ・各地区支部長 6 名 2 運営 ・PTA 総会（年 1 回、紙面開催） ・本部会議（年 6 回） ・本部&支部長会議（年 2 回）
主 な 活 動	【組織改革】 学級委員決めで必ずと言ってよい程、ジャンケンやくじ引きが行われ当たってしまった保護者の残念そうな顔を見ていると学級委員決めのその形式自体が違和感を覚え色々と模索し考えた結果組織改革が必要というところに辿り着き…出来る人が、やりたい人がやったら良いではないか？やりたくない人に無理矢理やらしてもらふ必要はあるのだろうか？など色々な想いが溢れ出し、まずは学級委員会を廃止し PTA 行事に協力してもらふ保護者ボランティアを学校側からの連絡メールとプリント配布に加え LINE のオープンチャットを駆使して募集を募り PTA そのものの組織を根本から再編成を行う。その背景には今この時代に合わせた PTA の在り方を考え直すことという想いからはじまり、戦後から続く GHQ による当時アメリカが採用していた（PTA）から現在アメリカのやり方（PTO）を参考に【出来る人が、出来る時に、出来ることを。】をスローガンに全保護者へボランティアの募集を実施。来年度以降もより良いボランティアの募集方法を模索していく予定。 【イメージキャラクター（アズちゃん）作製】 あずま小学校のイメージキャラクター（アズちゃん）を作製し PTA 広報誌、学校通信等に掲載使用。又、学校内でも案内板や貼り紙等児童達に馴染ませられるよう工夫し活用。キャラクター登場から数年後には着ぐるみを PTA のバザー等の行事利益収入金より作製。入学式・地域の祭り・運動会・秋の PTA イベント等にボランティアの保護者が中身になり着ぐるみで参加、応援する姿に児童達の士気も高まり各行事の盛り上がりがより一層増すなどと年間通して活用している。開校 150 周年のロゴにも採用、又 Instagram 公式アカウントを開設。 ＊ ＊ PTA の適正化に向けて ＊ ＊ 【学級委員の廃止・ボランティア側の導入】出来る人が、出来るときに、出来ることを。 集まらなければ開催の中止や今後の見直しを要する 多様化した現代に合わせて、旧来の画一的な運営は時代に合わなくなっていると思います。 無理なく関われる活動にしていけることが重要で、子供たちにできることをできる範囲で支えていくことが大切だと思います。

【青色防犯パトロール講習会】

青色防犯パトロール講習会を実施し、毎年 30 名ほどが「実施者証」を受け取っている。毎年更新し忘れてしまう保護者が出ているので、年度はじめには必ず確認するようにしている。そして 1 人でも多くの実施者証を入手してもらうよう呼びかけている。

【旗振り箇所について】

年度が変わる度に通学路を役員全員で危険な箇所は無いか確認したり地域の方々から意見を聞いたりして、必要なところは人数を増やしたり調整をしている。その都度、道路整備等で交通状態は変わるものと考えて意識を高め役員全員で共有している。

【秋のイベント】

例年秋には PTA 行事の一つとしてバザーを行っていたが時代の流れと共に各家庭からバザーへ出す品物が減少。そしてコロナ禍も大きな影響をとなりバザーを廃止。代わりに児童も保護者も地域の方々そして PTA 役員もが全員で楽しめる時間を過ごせる場と考え、秋のイベントを開催する事に。

第 1 回は【あずま小秋まつり】を開催。体育館内では保護者や地域の方々出店のフリーマーケット、校庭の一部では PTA 役員による縁日、ゲームコーナー、地域の方々によるバンド演奏を実施。第 2 回は【あずま小逃走中！】を開催。校庭を可能な限り使用し TV 番組でおなじみの（逃走中）を再現しオリジナルルールを取り入れ実施。ハンターには保護者からボランティアを募り親子で捕まえる側と逃げる側で親子の時間を共有してもらう事を主旨に。校舎が使えない分校庭でのミッションで逃走中らしさを再現。そして第 3 回目となる今年は【再び！あずま小秋まつり】を開催。前回の秋まつりの反省を活かし体育館内ではワークショップ、ゲームコーナー、ステージショーを実施。ステージでは地元芸人、マジシャン、地域のチアダンスを披露。校庭ではあずま小学校初のキッチンカーを 7 台招いて出店。更に小学校のキャラクター（アズちゃん）、くわまるくん、忠治くん、保護者自前のパンダー等着ぐるみ達も過去最多で参加し大盛況。参加人数としては第 1 回の秋まつりが約 600 名弱に対して今回は約 700 名超えと参加人数も上回り、今後の秋のイベントは児童、保護者そして地域の方々からも楽しみになっているあずま小学校 PTA 行事の一つとなった。

【AZUMA PHOTO JACK】

運動会で広報誌用に撮影した大量の写真データを活かし、期間限定で校内の一部に展示。仕事等で応援に来られなかった保護者の為にも可能な限り多くの写真で埋め尽くすところから【AZUMA PHOTO JACK】というネーミングに。今年で 8 年目の展示予定となり PTA 行事の定番の一つとなる。



名 称	伊勢崎市立宮郷第二小学校 P T A
会 員 数	4 4 6 人（令和 6 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	1 組織 (1) 本部役員 11 名 (2) 顧問 2 名 (3) 会計監査 2 名 (4) 専門委員会（広報 12 名、体育 11 名、特別支援 9 名、補導安全 11 名） (5) 各支部（3 支部、各支部支部長 1 名・副支部長 1 名） (6) 学級委員（18 学級、39 名） 2 運営 (1) 定期総会（書面開催）、運営委員会（年 5 回） (2) 地域行事、学校行事への協力
主 な 活 動	1 地域との協力 (1) 地域団体との連携協力 住民体育祭、花植え活動、健全育成推進大会など、地域における各種団体主催の行事に関して、PTA が運営に参加し、盛大に開催される。 年間 20 回実施する読み聞かせの会による活動、学期末大掃除のときに参加する清掃ボランティアによる清掃活動、地元老人クラブと連携して実施する旗振り活動など、日常の教育活動は、PTA と地域の各団体との連携のもとで円滑に行われている。  左：花植え活動 右：読み聞かせ (2) PTA 主催の行事 夜の学校探索（戦慄学校～恐怖の中で、謎を解け～）を行った。これは、PTA がコンセプトを考え、小道具を作り、学生ボランティアを交えて運営した。内容は、墓地などに見立てた各教室を回り、お化けの恐怖に耐えつつ、謎を解くにご褒美がもらえるものである。 また、PTA 会員と児童による校内清掃活動を実施している。  左：学校探索 右：清掃活動

2 PTA 会員の学びに関する活動

PTA 会員の学びに関する活動については、学級懇談会や役員による各種会議等の場での意見を参考に、企画運営をしている。

「いのちを育む講座」、「情報モラル講習会」、「学校保健委員会」などをこれまでに実施した。これらの場を通して、かけがえのない命の大切さ、スマートフォン・SNS の適切な利用の仕方、生活リズムを整えることと睡眠の大切さなどについて、保護者と児童で共に学ぶとともに、保護者同士でも話し合うことを通して、家庭における教育力を向上させることにつながった。



左：いのちを育む講座、右：学校保健委員会

3 生活指導に関する活動

生活・持ち物のきまりである「幸せを運ぶ♪宮二小よいこのクローバー」（以下、よいこのクローバー）について、本校では児童、保護者が主体となって見直しを進めた。具体的には、児童会役員と担当教諭で相談しながら、よいこのクローバー（原案）を作成した。次に、原案をもとに各学級で話し合い、意見を吸い上げた。さらに、PTA 会員である保護者が、よいこのクローバーに係る保護者アンケートの回答に協力した。児童や保護者の考えをまとめ、よいこのクローバーを提案し、2ヶ月間の試行期間を経て、令和6年4月より本格実施した。

この過程を通して、児童、保護者が自分事としてきまりの背景や理由についてその意味を考え、理解を深めることができた。

しあわせ 幸せを運ぶ♪
宮二小
よいこのクローバー

学校

1 登下校

- 忘れ物に気付いても家にもどらない。
- 集合時刻を守る。
- 決められた通学路で登校する。
- 一列で歩く。
- 下校時刻を守る。
- 交通ルールを守る。
- 寄り道をしない。
- 校長の話をしっかり聞く。
- なるべく一人で帰らない。
- 登下校中に困ったらまわりの家を活用する。

2 あいさつ・返事・言葉づかい

- 自分から進んであいさつをする。
- 年上には敬語で話そう。
- 友達には「くん」「さん」「ちゃん」をつけ、優しい言葉づかいをする。
- 呼ばれたら「はい」と返事をする。

3 授業

- 学習用具を準備し、時間で授業を始める。
- チャイム音響をする。
- 正しい姿勢で学習する。
- 教室の移動は静かにする。
- 5年生から、シャープペン、付せん、蛍光ペンを使ってよい。(使い方のルール※1)
- 読みやすく、分かりやすいノートをつくる。
- 理由を付けて自分の考えを伝えよう。

左：よいこのクローバーの表紙、右：よいこのクローバーの内容

名 称	高崎市立乗附小学校 P T A
会 員 数	2 2 3 人（令和 6 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	1 組織 ○本部役員 11 名 会長 1 名、副会長 4 名、書記 3 名、会計 3 名 ○会計監査委員 2 名 ○専門委員会 学年委員 12 名 保健体育委員 12 名 ○地区委員会 21 名 2 運営 ○本部役員会 年 4 回実施 ○運営委員会 年 2 回実施 ○PTA 総会 年 2 回 書面、さくら連絡網にて実施
主 な 活 動	1 PTA 独自の連絡用アプリの活用 児童数が減少しているので、委員会の数や所属する人数を減らすなど、組織の再編成に向けて検討した結果、活動のスリム化を実行するにいたった。内容や運営の仕方を見直し、効率よく活動できるように工夫している。 その工夫の 1 つとして、PTA 独自の連絡用アプリ「さくら連絡網」を活用し PTA 内の連絡や意見の集約などの簡便化を図っている。具体的には、会員からの意見を、連絡用アプリを用いたアンケート形式で聴取することにより、各専門委員会の委員長・副委員長が出席する運営委員会で、会員の様々な忌憚のない意見を出し合いながら協議を進めるようにしている。さらに、このアプリや、学校連絡メール等を活用して、学校と PTA 役員との連絡を密に行うようにし、保護者が学校へ来校する回数を減らすことができた。 また、PTA による学校新聞を作らず、各専門委員会の活動は連絡アプリを活用し、紙面によらない配信をしていて、経費の節約にも寄与している。さらに、PTA 活動の様子を連絡用アプリによって配信したり、ホームページに掲載したりしている。このように連絡用アプリを活用することで、PTA 活動についての理解や協力を得るようにしている。 2 「のつけっ子応援隊」の募集 「のつけっ子応援隊」は、PTA 本部役員が連絡アプリを用いて募集し、協力できる PTA が主体的に活動し、学校行事等での支援をしている。 地域区長会除草作業には PTA 本部役員と「のつけっ子応援隊」で応募した参加者が加わり、通学路の除草を行っている。除草作業の他にも、読み聞かせボランティアは、



区長会除草作業参加

毎週火曜日の朝活動での読み聞かせを実施していたり、学校支援ボランティアは、校内の掲示物作成や環境整備、ミシンや習字の学習支援を行ったりしている。

夏休みの最後の早朝に行っている校庭整備には、本部役員以外にも応援隊に応募した人が親子で参加することがある。また、運動会のテント設営などの準備や持久走大会のコース補助も応援隊が参加している。

3 地域人材を活用した PTA イベント開催



様々な PTA イベントを開催し、地域とともに、児童が楽しめる企画を運営・実施している。その際には地域人材を活用するとともに、連絡用アプリを活用して、多くの保護者がイベントに参加している。特に、ペットボトル

ペットボトルロケット大会 ロケット大会は、毎年大盛況である。ペットボトルロケットとともに科学への関心を高めるためにスライムづくり体験も実施している。また、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくいなどの屋台を出したり、地域店舗のキッチンカーを数台呼んだり、地域との連携を図っている。

その他にも各学年で学年 PTA として親子行事を行っている。1 年は給食試食会で親子一緒に給食を食べる。2 年はダンス教室で親子ともにリズム体操をする。3 年はおなか元気教室で健康な生活を一緒に考える。4 年はスポーツ体験で児童が苦手とするボール投げ教室をする。5 年は命の教室で助産師を講師に命の大切さを学ぶ。6 年は卒業式用コサージュ作りをしている。各取り組みは地域と関連のある講師を依頼し、それぞれ親子で参加できるようにしているため、子どもたちも楽しんで参加している。特に 6 年生のコサージュ作りは長年続いており、親子で相談しながら作成している様子は温かい雰囲気で大変好評である。



6 年 PTA 行事

また、本校区では地域行事にも子どもたちが多数参加している。地域体育振興会が行っている三世代ふれあいソフトバレーボール大会や三世代ふれあい運動会では、児童・保護者・シニアの三世代でスポーツに親しめるような活動となっている。ここでも PTA は、準備や運営に協力している。

安全面においても、地域の青少年健全育成推進協議会主催の総決起大会に児童が参加し、PTA も協力している。また、地域の他の団体とともに校区内の安全パトロールを実施することで、地域の子どもの安全を推進している。

出し、それに教頭が返事を書いてコピーを返している。そこには「緊張したがやってよかった」とか、「子どもが一生懸命聞いてくれたので嬉しかった」といった保護者の声が聞かれる。

(2) 安全対策会議

本校では毎週1回、主に月曜日に全校一斉の集団下校を実施している。その際、毎学期末に1回ずつ、村の青少年育成推進員に同行を依頼し、下校の様子や通学路の危険箇所の確認をしている。その1学期の回(6月上旬)では、4月に全会員からとった「通学路の危険箇所アンケート」をもとに、PTA安全委員(地区委員)もそれに加わって危険箇所を確認している。終了後再度集まり、その情報を参加者全体で共有している。その情報は、毎月1回朝行事の通学部会で児童と共有して注意喚起している。また、道路の改修などが必要な内容は村教委に報告し、村内の通学路点検の際に道路を所管する諸機関に改修を依頼するなどして改善が進むようにしている。



安全対策会議の様子

また、月に2回程度、「PTA交通安全指導」として、1年間を通して各世帯1回ずつ通学路に立ってもらい、児童の登校の安全を見守ってもらっているが、自主的に家の近くで登下校の様子を見守っている家庭もある。本校は学区が広く、教員だけではどうしても目の届かない部分があるが、保護者の協力を得て児童の安全確保がされている部分も大きい。

2 全会員による活動

まず、夏休みに行われる奉仕作業が挙げられる。普段の清掃ではできない箇所の環境整備を会員総出で行っている。今年度は、ガラスふきや側溝の砂上げ、樹木の伐採などを行った。特に后者では、高所作業車やチェーンソー、4tダンプなどを持ち寄り作業をしたおかげで、教室の採光や学校園の日照が改善された。



PTA 奉仕作業の様子

次に、本校独自で行っているPTAセミナーがある。こちらは学校保健委員会のテーマである、「メディアと上手につきあおう」と関連した内容の講演をオンラインで行った。職員も入れて80名程度の参加があり、このテーマに対する会員の関心の高さをうかがうことができた。

名 称	明和町立明和東小学校 P T A
会 員 数	1 4 5 人（令和 6 年 5 月 1 日現在）
組 織 ・ 運 営	1 組織 ○本部役員 4 名 会長、副会長、書記、会計 各 1 名 ○顧問 2 名 ○会計監査 2 名 ○地区実行委員 14 名（8 地区） ※地区の会員数により 1 名もしくは 2 名 ○地区委員 5 名 ※会員数の多い地区 ○学年委員 18 名（各学年 3 名ずつ） 2 運営 （1）PTA 総会（年 1 回 4 月に紙面にて開催） （2）本部役員会・実行委員会（年 4 回実施） （3）専門部反省会議（次年度への引き継ぎを兼ねる）
主 な 活 動	【少子化による、会員数減少に合わせた組織の見直し】 児童数の減少に伴い、ここ数年 PTA 会員数の減少が起きている。また、会員数が少ない地区と多い地区とで 4 倍弱ほどの差が開いている。平成 28 年度より会長及び本部役員を選出を地区ごとに選出していたが、公平感がなくなってしまったので、会長選出の際には 2 地区合同で選出する地区をつくった。また、副会長は 2 名いたが、実行委員会、総会で承認を得て、1 名とした。このことにより、本部役員選出の際における地区役員の負担が少しでも軽減された。 【地域の子どもは地域で育てる】 （1）各専門部の取り組み ・環境補導部 各地区の正実行委員長（8 名）で組織されている。火曜日と木曜日の放課後に学区内をパトロールしているため、地区実行委員長に各地区の割り振りを考えてもらい、年間巡回パトロール表を作成している。各会員、年 1 回パトロールしている。 また、交通安全運動の時期に合わせて旗振り当番表を地区ごとに作成している。地区ごとに危険箇所や登校班の様子などを確認し、地区によっては旗振りの場所を変更するなど、児童が安全に登校できるよう努めている。



さらに、校庭の除草作業や校舎の窓拭きを行い、校内外の美化活動を PTA を中心に行っている。

学年末に来年度の通学班編成を各地区の実行委員長を中心に行っている。地域主体の通学班編成により、地域の詳しい様子を配慮しての班編成ができる。新 1 年生とその保護者も参加することにより、入学前に状況がわかるので、4 月からの登下校に対する安心感が得られている。

・広報部

年 2 回 PTA 広報紙「すずかけ」を発行している。学校行事を中心に児童の作文や写真を掲載している。広報部会を開き、行事の写真や挿絵を選択し、レイアウトを決めている。

・体育部

運動会終了後にテントなどの片付けを行っている。また、持久走大会において交差点での監察を行っている。

・保健・文化部

あらかじめ、会員からの給食試食会の意見をアンケート形式で聴取し、授業参観の時に給食試食会を実施している。試食会后、他校に在籍している栄養教諭に栄養についての講義を受ける取り組みを行った。会員が 20 名ほど参加し、食の大切さを学ぶことにつながっている。



・学年部

1、2 年生を対象に読み聞かせを年間 18 回程度、朝活動の時間で行っている。絵本の読み聞かせによって児童の読書への興味関心を高めている。PTA 会費の一部から、読み聞かせ用の絵本を毎年購入している。



(2) 地域と行う諸活動

PTA による朝の旗振り活動や放課後の防犯パトロールを通して、児童の登下校の確認、危険箇所についての実態調査を行い、学校に情報提供を行っている。また、地域の方々が子どもを見守るという意識が強く、区長会、青少推などの地域の団体と連携して安全見守り活動やあいさつ運動を実施している。それにより、PTA と地域と子どもの結びつきが強く、自然にあいさつをするなど、PTA 活動が地域に良い影響を与えている。